



HAKODATEコンシェルジュ養成プログラム

詳しい説明会を4月8日(月)15:30~16:10に、1番講義室にて行います。

①目的

本校独自の認定資格「HAKODATEコンシェルジュ」を得るための養成プログラムが、2018年度から始まりました。

本校では国際的な視野を持ち地域で活躍できる人材の育成を目指しています。その際、どの地域で活躍するにせよ、その地域独自の自然、文化、歴史についての理解しておくことは重要です。その理解があるからこそ、地域の強みを生かした活動、あるいは弱点を補った活動ができるからです。さらに今後は、地域についての情報を知識として持っているだけではなく、埋もれている地域の魅力を自ら探し出し、それを発信できる人材が求められるようになってきます。

そのような人材を育てるべく、本プログラムでは、道南地域の観光や教育に関し、通常の講義よりも深く「地域に関する深い知識」「地域の潜在的な魅力を見つけ出す能力」「地域の魅力を情報発信する能力」を育成することを目指します。

卒業後、それらの能力を基盤としてさらに成長してもらい「ホテルのコンシェルジュが顧客のニーズにきめ細やかに対応できるように、地域のコンシェルジュとして地域の問題やニーズにきめ細やかな対応ができる人材」となって活躍してもらいたいと考えています。

※コンシェルジュとは

一流ホテルなどで、宿泊客のあらゆる要望や案内に対応する職種のことで、豊富な知識、高いコミュニケーション能力、臨機応変な対応力などが求められるプロフェッショナルな職種です。

※プログラムとは

ここでは、ある能力を身に着けるために設定された特定の科目のまとめ（学習計画）の意味です。

②修了に必要な単位

本プログラムを修了するには、指定された科目の中から21単位分を取得しなくてはなりません。そのうち10単位程度は、本学を通常卒業する際に必要とされる科目のうち、本プログラムの趣旨にあう科目（認定科目と呼びます）の中から取得することができます。残り10単位程度は、本プログラムを受講する学生に対して開講される科目（専用科目と呼びます）の中から取得する必要があります。専用科目は研究発展科目の中に位置づけられ、20~30名程度の受講者数を想定しており、それだけ深い学びを得ることが期待できます。

たとえば1年前期の「ソーシャルクリニックと地域」では、「まちづくりカフェ」「留学生の函館や日本文化に関する学びのサポート」「留学生の地域活動支援」「子ども食堂に関わる活動」などへの参加を通して地域の実態や課題に触れます。同じく1年前期の「国際地域リーダー論」では、ラッキーピエロ会長、楽天役員、むつ市長、ふらのまちづくり株式会社社長、津軽海峡フェリー社長など、各界のトップ14名による特別講座を受けます。

卒業時には認定書を発行します。ただし、その認定書が何かの資格のように効果を持つわけではありません。プログラム全体を受講し能力を高めたことの証明書となります。

